

ティーチング・ポートフォリオ

大学名 人間総合科学大学

所 属 人間科学部

健康栄養学科

名 前 中 沢 麻 理

作成日 令和7年4月18日

1. 責務（何を行っているか、何を果たしているか）

「公衆栄養学Ⅰ・Ⅱ」「公衆栄養学実習」「地域栄養学演習」「管理栄養士基礎演習Ⅴ」「管理栄養士総合演習」「食事計画実習」「コミュニケーション実習Ⅰ・Ⅱ」「臨地実習」「卒業研究」「職業とキャリア形成」等

教育活動は、就職対策ワーキンググループ、広報委員会に所属している。

1年生の担任、臨地実習は、事業所、病院、行政を担当している。

本学の「人々の真の幸福と健康を支援する」という教育理念のもと、管理栄養士国家資格を取り、地域の健康の保持・増進ができる管理栄養士を育成することを責務と考える。

2. 理念（教育に対する考え方）

「人間の総合的理解」をもとに、人間・生活と「栄養・食」とのつながりを理解し、健康や医療に係る様々な場面において、「人々の幸福と健康を支援する」ことのできる管理栄養士を育成することである。管理栄養士は、すべての人びとの「自己実現をめざし、健やかによりよく生きる」ために「栄養の指導」を行う専門職である。公衆栄養学領域の学びを通して、地域の栄養・食生活だけでなく、仕事をする上でのコミュニケーション力を高められるように学修していきたい。また、自分の夢や目標に向かって充実した日々を送れるよう支援していきたい。

3. 方法（教育方法において大切にしていること）

健康栄養学科は、管理栄養士の養成課程の学科です。ディプロマポリシーにもあるように、「健康が心理的・社会的・文化的側面と密接に関わることを理解し、社会で活躍できる管理栄養士としての専門知識と技術を身につけていること」は基本です。「公衆栄養学」では、個人の健康はもとより、地域全体で元気に生活ができ、すべての人の生活の質（QOL）の向上を目指しています。管理栄養士として専門的な知識を理解して、実践的に活用できることが求められています。また、身近な友人たちの異なる個々の考え方や意見等を受け入れ、理解し、尊重し合える環境づくりを心掛けています。

4. 成果（学生さんからの評価に対して、学生さんの学修成果について）

5. 目標（教育活動の中短期目標と達成時期）

短期目標：①ライフコースに応じた献立作成ができる。（1年次）
②管理栄養士として働くイメージを持つことができる。（1年次）
③管理栄養士業務におけるコミュニケーション能力を理解することができる。（2年次）
中期目標：①公衆栄養学を学び、地域の健康づくり事業を理解することができる。（2年次）
②公衆栄養学実習（校内実習）を通して、地域の健康課題を見つけ、その改善計画を作成できる。（3年次）
③卒業研究テーマを設定し、先行研究の調べ方、研究方法、論文の書き方が理解できる。（3年次）

* 表紙を含め、全体として、3～10ページ程度とします。

【添付資料】

* **TP** の記載内容を客観的に示すためのエビデンスとなる資料項目を箇条書きで列挙ください。
（シラバス、開発教材、学生アンケート等、特に特徴的なものを列挙し、必要に応じて、
すぐに確認できるようにしておきます。）